

とばたの風

戸畑区日本共産党後援会二コース

第57号

2017年3月発行

発行責任者
配川 寿好

北九州市戸畑区
天籟寺1丁目1番15号
Tel.873-3735
(部内資料)

安心してくらせる戸畑のまちを 全力で頑張ります



北九州市議会議員
荒川 徹

るために、そして業者の経営を守る取り組みに全力をあげます。早速、個別の事業者や市場の組合などから、実情や意見をお聞きする活動に入ります。

みなさんのご支援で市議会に押し上げていただき、8期目の任期を努めさせていただきます。

市政アンケートや、選挙期間中直接お聞きしたみなさんの声に、国民を大事にしないゆがんだ政治や不況の深刻さを改めて痛感しています。

身近なお店を

元気にしよう

戸畑区では、身近な店の廃業などで、お年寄りの毎日のくらしが影響を受けています。

私は、これからの4年間の任期のなかで、地元中小企業、市場・商店街を元気にするために、頑張りたいと決意しています。そのために、役所をはじめ、商工会議所や民主商工会などの業者団体と連携しながら、意欲ある事業者の知恵とエネルギーを集めて、市民のくらしを支え

どこに行っても

「年金減らすな！」

政府は、年金も、医療も、介護も、ますます改悪しようとしています。

国民のくらしをないがしろにして、容赦なくいのちを削る、こんな政治を、私は絶対に許しません。

大事にしたい

みなさんとのつながり

政治の現状を伝え、みなさんの声を直接聞きする機会をつくることは、議員の責務です。そのために、私はこれまで市民センターでの定期的な市政報告会や、街頭からの訴えに取り組んできました。これからは、市民のみなさんとのつながりを大事にしていきたくと考えています。

大企業をも告発できる パツゾの威力 再び国会に送ってください

日本共産党衆議院議員 まじま省三



国会議員は、大企業を国会によぶこともできるし、その社会的責任を直接追及できます。私も、トヨタ白

動車、新日鉄住金、東芝、東京電力、九州電力、JRR九州などの大企業の横暴を厳しくただし、是正させてきました。大企業の実名をあげ、労働者や住民の声、事実と道理の力で政治を動かす論争こそ、日本共産党の真骨頂です。

さよなら原発！ 3・11 北九州集会



2000人が参加・デモ行進

福島第一原発事故から6年。現場は依然として深刻です。

政府は、被災者切り捨てをすすめ、佐賀県の玄海原発をはじめ、全国の休止中の原発再稼働を推進しています。

恒例 後援会主催 第28回 お花見

日時 4月2日(日)
午前11時スタート

場所 夜宮公園

お気軽に多くのご参加を！

※雨天の場合は、「ケアハウスらいふ戸畑」にお集まりください。



ヨイサ!

大阪・森友学園の問題が連日、新聞・テレビを賑わせたが、籠池理事長の認可取り下げで幕が下りようとしている▼一連の経緯の裏に政治家の関与があったらうことは想像に難くない。それと同時にあきれたのは森友学園の教育方針だ▼幼稚園児に愛国行進曲を歌わせ、戦前の教育勅語を唱和させる。果ては「安倍首相がんばれ、安保法制通つてよかった」と運動会で言わせている。それを安倍夫妻は「礼節を学び愛国心と誇りを育てる素晴らしい教育を実践されている」と持ち上げていく▼学校設立の条件として土地や校舎、安定した経営が必要とのことだが、もう一つ大切なことは教育基本法に則った教育方針だと尾木直樹氏がテレビで言っていた。教育勅語を唱和させるような民主主義に反する方針ではそもそも認可されるべきではないのだ▼さらに今回わかったことは昭恵夫人がいつも官邸スタッフ75人を従えているということ。20もの団体の名誉会長を受けていたこと。ちゃんと安倍首相の内助の功をしてたんだ。家庭内野党はポーズだったんだね▼こんな政治を許してはならない。安倍さんには一刻も早く辞めてもらわなくては。



北九州市議会議員
荒川 徹

投票率が過去最低

市政をチェックし、市民の声を市政に届ける大事な役割をもつ市議会議員。その議員を選ぶ今年1月の市議選で、投票率が過去最低の39・2%にとどまりました。

情報が無い

有権者が選挙の際に判断する情報は、演説会や各候補が

選挙は民主主義の基本です

出すチラシなどもありますが、全ての有権者(世帯)に配布される「選挙公報」が、もっと重視されるべきです。

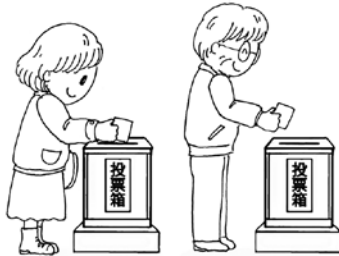
政令市の市議会議員選挙で「選挙公報」が発行されていないのは、広島市と北九州市だけです。

「選挙公報」の発行実現を

民主主義の根幹である選挙に、全ての有権者が参加するよう働きかける責務が、選挙管理委員会にあります。投票率を上げるためにも、有権者の関心を高め、必要な情報を提供すること「選挙公報」を発行することが大事だと考えます。

投票所の改善も大切

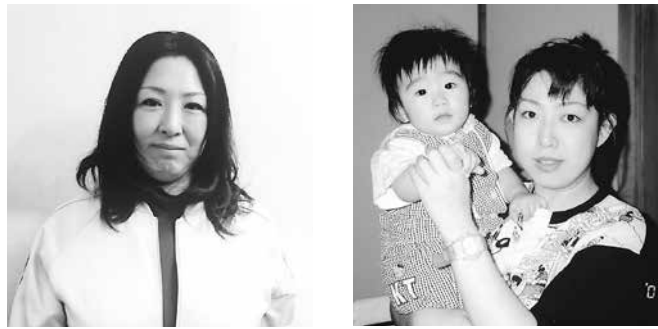
投票所へのアクセスの悪さから、「投票に行けない」という声も多く聞きます。投票所の増設、バリアフリー化、期日前投票ができる場所を増やすなど、より投票に行きやすい条件整備をすすめることも急務です。



荒川さんにハマった姉妹

くろつち ゆきえ
黒土 千江さん (46歳)
夜宮在住

よなお よしえ
与猶 伊江さん (45歳)
椎の木町在住



年子で生まれた二人は、双子同然に育ちながらも、性格はまったく正反対と言います。インタビュー中ほぼ一人でしゃべる伊江さんの横で、静かに微笑んで聞いている千江さん。

二人ともに、選挙権を得てからほぼ四半世紀もの間投票に行かなかったということです。選挙に意義を見出せなかった二人が、1月投票の北九州市議会議員選挙では、「荒川さんをお願いします」という電話かけを誰よりも熱心に行ったのです。

「荒川さんにハマった！」そのきっかけは、千江さんが解決困難な問題を荒川議員の生活相談所に持ち込んだことからです。誠実に相談に応える荒川議員の姿に、「こんなにいい人を選挙で落としてはならない」と。

伊江さんは、それ以前に私学助成のための国会請願行動で衆議院を回った時、議員が直接会ってくれたのが、日本共産党の真島省三衆議院議員ただ一人だったという経験があります。

それまで、「変わった人たち」とか「怖い」と思っていた共産党が、自らの要求を実現しようとした時に、誰よりも心強い協力者であったことに気づき、助けてもらった分私たちのできることをやらなくてはと、必死であらゆる知り合いによびかけたといいます。投票用紙には「初恋の人に出す手紙のように」丁寧に記入したとか。

伊江さんは膠原病と闘いつつ、選挙カーの手振りくらいやりますよと明るく笑い、千江さんはテレアポの経歴10年という特技？を生かして電話をかけまくりますよと、この二人は戸畑区後援会に新風を巻き起こしそうです。

国境としての境川 (上流編)

戸畑郷土史会会員 金丸 房男

江戸時代、現在の北九州市は中央付近で、「豊前国・企救郡中原村」と「筑前国・遠賀郡中原村」に分かれていました。この二つの国の境が、現在の金比羅池を源流に、中原海岸に向かって流れている



金比羅池の中に立つ国境石

境川でした。金比羅池に国境石(写真)が設置されていますが、江戸時代には池がありませんでした。明治時代の地図にも池は存在しません。現在の金比羅池付近は、高台に囲まれたす

くすりのことなら ふれあい薬局 戸畑店

戸畑区新池1丁目5-30
☎ 093-881-2332

り鉢状の地形になっており、周辺の伏流水等がここに溜まり、境川に流れ込んでいたと思われれます。江戸時代中期の元禄十(1697)年頃、最初に設置された国境標柱の杭が、洪水で流されました。その位置に文化十四(1817)年に建立された国境石は、当時道の傍らにありましたが、大正七(1917)年に農業用水として金比羅池が造られたため、現在は池の中に立っています。

農業用水は、企救郡井堀、中原地域の水田、畠を潤し、その農作物が住民の生計を支えていました。一方、遠賀郡戸畑中原地域は、千畳敷、蓮根畑、竹林などで、稲作には適さない土壌でした。因みに、当時は「戸畑蓮根」、「中原大根」が特産物として有名だったそうです。

江戸時代の国境であった境川を基点に、衆議院選挙区が、福岡九区と十区にわかれています。